

2025 年度

学 生 募 集 要 項

(学校推薦型選抜Ⅰ)

〔大学入学共通テストを課さない選抜〕

2024 年 8 月 29 日改訂版

- ・P23 11 入学試験に関する情報の開示について郵便料金の値上げに伴い変更しました(変更箇所は赤字表記)(7月17日変更)。
- ・農林海洋科学部農林資源科学科フィールド科学コースの募集枠の追加に伴い関連箇所を変更しました(変更箇所は赤字表記)(8月29日変更)。

人 文 社 会 科 学 部	人文社会科学科	人文科学コース 国際社会コース 社会科学コース
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・教科教育コース・ 特別支援教育コース 保健体育教育コース
理 工 学 部	情報科学科 生物科学科 化学生命理工学科 地球環境防災学科	
医 学 部	看護学科	
農 林 海 洋 科 学 部	農林資源科学科	フィールド科学コース 農芸化学コース
地 域 協 働 学 部	地域協働学科	

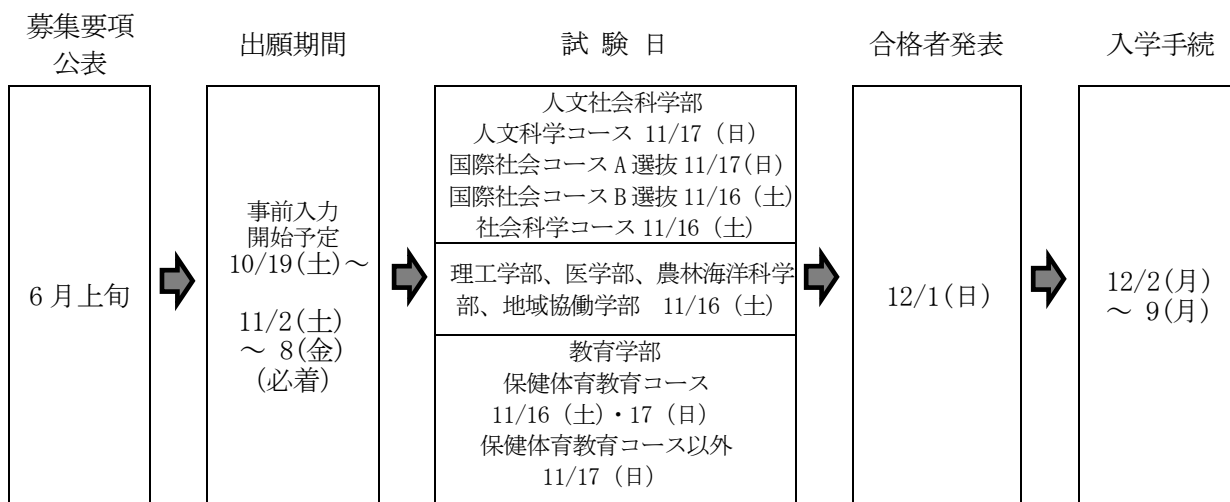


出願方法はインターネット出願です。

出願手続は「インターネットによる入力」、「入学検定料の支払い」、「必要書類の郵送」を行っていただきます。

目 次

◎「アドミッション・ポリシー(入学受入方針)」及び「入学者選抜方法と評価する能力」	1
1 実施する学部(学科・課程等)、募集人員及び出願資格等	6
2 個別の入学資格審査	
(1) 審査の方法等	10
(2) 申請期間及び問合せ先	10
3 出願手続	
(1) 出願方法	10
(2) 出願期間	11
(3) 入学検定料	11
(4) 出願に関する留意事項	11
(5) 郵送が必要な書類等	12
(6) 受験票の印刷	12
4 障害等のある者の出願	13
5 選抜方法等	
(1) 選抜方法	15
(2) 試験実施期日・時間及び試験場	19
(3) 実技の内容等	20
6 受験上の注意事項	
(1) 試験場への集合等	20
(2) 携行品	20
(3) 受験票	20
(4) 遅刻者	20
(5) その他	20
7 合格者発表と選抜結果の通知	21
8 入学手続	
(1) 入学手続期間	21
(2) 入学手続書類の送付先	21
(3) 入学手続書類	21
(4) 入学手続時等に要する経費	21
(5) 注意事項	22
9 入学前指導(事前学習会)の予告	22
10 不合格者の国公立大学への出願	23
11 入学試験に関する情報の開示	23
12 個人情報の取扱い	24
試験場案内	25
入試情報	裏表紙



◎「アドミッション・ポリシー(入学受入方針)」及び「入学選抜方法と評価する能力」

高知大学のアドミッション・ポリシーは、学部・学科(コース)ごとに、「養成する人物像」、「求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準」及び「入学選抜方法と評価する能力」を示しています。

なお、「入学選抜方法と評価する能力」では、選抜ごとの「選抜方法と評価する能力の対応表」を示します。表にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示しています(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)。なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

また、「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

なお、養成する人物像で記載されている「〇〇学」の具体的な内容については、各学部のホームページ等を参照してください。

人文社会科学部

■人文社会科学科

人文科学コース

【養成する人物像】

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・地理学・文学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について批判的な精神をもって理解し、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で諸科目を幅広く履修し、基礎的な素養を身につけている。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、的確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、主体的に考えることができる。

関心・意欲

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について関心を持ち、取り組む意欲がある。

【入学選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
英語	◎	○		
面接		○	◎	○

国際社会コース

【養成する人物像】

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができる人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 多面的価値を学び、理解するのに必要な基礎的な素養、すなわち高等学校卒業程度の教科学習(「外国語」を中心とした教科)に関する知識があり理解している。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 得られた知識を相互に関連づけて、グローバル化に対して批判的に思考し判断する能力を有する。
2. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 言語・文化・社会の多様性を理解しつつ、多様な人々と協働する能力を身につけている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。

関心・意欲

1. 世界における多様な言語・文化・社会の問題に強い関心を持っている。
2. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する意欲がある。

【入学選抜方法と評価する能力】

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
A選抜	小論文	○	◎		
	面接		◎	○	◎
B選抜	面接	◎	◎	○	○

社会科学コース

【養成する人物像】

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝わるように表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 社会科系の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制

度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

関心・意欲

1. 経済・経営・会計・法律・政治等に関連する社会的なことがらについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	○	◎	○	○

教育学部

■学校教育教員養成課程

【養成する人物像】

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 教育実践に必要とされる教養や教育(保育)に関する専門的な知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の各教科に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育(保育)と教師(保育士)の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

教育科学・教科教育※・特別支援教育コース

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験	◎	◎		
問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
振り返り作文	○	◎		

※教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

保健体育教育コース

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
講義理解力試験	◎	◎		
問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
振り返り作文	○	◎		
実技、実技実績調べ	◎	◎		

理工学部

■情報科学科

【養成する人物像】

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」「ソフトウェア科学」「数理情報学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識があり理解している。
2. 情報科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する事項の知識と理解及び技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に学習に取り組む習慣が身についている。
2. さまざまな考え方をもち人とコミュニケーションを取り、良好な協働ができる。

関心・意欲

1. コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
2. 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
3. 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	○	◎	◎	◎

■生物科学科

【養成する人物像】

生物科学科は、「地球生態系から分子レベルの現象を扱う生物科学(分類学、生態学、古生物学、比較生化学、細胞生物学、生理学、分子進化学の諸分野)についての専門的な知識と野外調査・室内実験の技術を修得し、生物及び生物圏の在り方をさまざまな視点から理解し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理学を修得するために必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 生物科学の専門知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。
4. 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。

主体性・多様性・協働性

1. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。
2. 実験や演習等に積極的に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。
2. 自然法則や科学者・科学技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を学ぶことに興味・関心がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

■化学生命理工学科

【養成する人物像】

化学生命理工学科では、化学反応の仕組み、物質の性質や機能、細胞でおこる生命現象の仕組みを分子や原子レベルで理解するための基礎的な知識と技術を身につけます。それらを土台として、化学と生命科学分野の基礎科学研究及び環境、エネルギー、材料科学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等に関連する応用研究に取り組むことで、社会で生じるさまざまな問題の解決へとつながる革新的な発見や発展に貢献できる研究者・技術者を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識を有する。
2. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要となる理科・数学・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識・技能を身につけ、理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら問題点を見出し、原因の探求、解決に向けた課題設定ができる。

2. 自然現象や身近な現象を科学的に考えることができる。
3. 物事を筋道立てて考えたり、明確な基準や理由をもって判断したりすることが得意である。
4. 自分が理解している事柄を他者にわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自己の向上及び自身に関わるさまざまな活動の活性化のために、自ら学び、行動できる。
2. 持続可能な社会を実現するためのさまざまな課題に目を向け、化学や生命科学の領域から主体的に課題に取り組むことができる。
3. 多様な人々と協働して、学んだり、さまざまな課題に取り組んだりすることができる。

関心・意欲

1. 科学が好きで、特に化学反応や生命現象に強い関心がある。
2. 化学や生命科学の分野で、新たな法則や原理を発見したり、新たな技術、材料等を開発したりする意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

■地球環境防災学科

【養成する人物像】

地球環境防災学科では、地球を作っている物質の特性、自然現象や災害が起こる仕組み、災害から命や暮らしを守る方法について教育・研究を行い、自然共生型社会の構築・発展に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
3. 実験や実習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学者・技術者の守るべき倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶことができる。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と社会の課題解決に取り組むことができる。

関心・意欲

1. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
口頭試問を含む面接	◎	◎	○	○

医学部

■看護学科

【養成する人物像】

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のこころに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

- 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
- 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

- 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
- 自ら学び、挑戦することができる。
- 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

- 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
小論文	◎	○		
面接		◎	◎	◎

農林海洋科学部

■農林資源科学科

フィールド科学コース

【養成する人物像】

フィールド科学コースは、「農林業と環境保全を対象としたフィールド科学に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 専門的知識の修得に必要な、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
- 正しい日本語、英語や数式を使って、自らの思考を適切に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- さまざまな人と意見交換ができる。
- 主体的に学ぶことができる。
- チームの一員として積極的に活動することができる。

関心・意欲

- 常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
- 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。
- 専門分野の修得について強い関心と意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜区分	選抜方法	評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
一般推薦 A選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
一般推薦 B選抜 (地域志向枠)	小論文	◎	◎	○	○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎
専門推薦	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

農芸化学コース

【養成する人物像】

農芸化学コースは、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 農芸化学分野、DXに関連する専門的知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

- 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
- 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。
- 物事を客観的にとらえることができる。
- 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。

主体性・多様性・協働性

- 主体的かつ真摯に学ぶことができる。
- さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
- チームの一員として主体的・積極的に活動することができる。
- 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備えている。

関心・意欲

- 生命現象を遺伝子やタンパク質、生理的な機能を持つ化合物など、目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
- 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
- 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
- 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学的視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
- データサイエンスに関する専門的な知識を修得し、地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
- 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
口頭試問を含む面接	○	○	○	◎

地域協働学部

■地域協働学科

【養成する人物像】

地域協働学部は、地域理解力・企画立案力・協働実践力の3つの能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見しその解決のための取り組みを行う中で、立場や利害を越えて人や組織などの協働を創出・促進することができ、「産業」「行政」「生活・文化」の各領域における「コーディネーター」や「イノベーター」として活躍できる「地域協働人材」を育成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

1. 地域協働に関連する専門的知識を修得するために必要となる、理系・文系を問わない幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識・技能を有している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的に思考する能力を有している。
2. 物事を客観的に分析し判断する能力を有している。
3. 自分の意見を口頭と文章の両面で他者に適切に伝えることができる表現能力を有している。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題の探求や解決にあたる態度を有している。
2. 課題について多様な考え方を受け入れる態度を有している。
3. 考え方や価値観の異なるさまざまな人と協働し課題の解決にのぞむ態度を有している。

関心・意欲

1. 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決に関心を持っている。
2. 地域課題解決や地域振興に向けた協働的活動に粘り強く取り組む意欲を持っている。
3. 地域での協働的取り組みの中で自分が成長することに意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力			
	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 多様性・ 協働性	関心・ 意欲
グループ活動及び振り返り演習適性試験	○	◎	◎	◎
作文	○	◎	◎	◎
面接	○	◎	◎	◎

1 実施する学部(学科・課程等)、募集人員及び出願資格等

入学定員の一部について、大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ」を実施します。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

【共通の注意事項】

- ・出願資格欄の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校（3 年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の出身者を含みます。
- ・学校長が推薦できる人員に制限がある場合は、分校は本校とは別に 1 校として扱います。
- ・募集人員に欠員が生じた場合は、本選抜以降実施される入学者選抜試験で欠員分を補充します。

実施学部(学科・課程等)			募集人員	出 願 資 格	備考
人 文 社 会 学 部	人 文 社 会 学 科	人文科学コース	20 人	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 1)
		国際社会コース	A 選抜 23 人	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 5)
			B 選抜 12 人	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の「各学科に共通する教科・科目の外国語」の学習成績の状況が 4.3 以上の者 ただし、調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」も履修している場合は、前記の学習成績の状況 4.3 以上に加えて当該英語科目の学習成績の状況が 4.0 以上の者 調査書の「主として専門学科において開設される各教科としての英語」のみを履修している場合は、当該英語科目の学習成績が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 5)
		社会科学コース	20 人	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 1)

実施学部(学科・課程等)			募集人員	出 願 資 格	備考
教育 学 部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・ 教科教育コース (注 6)・ 特別支援教育 コース	一般枠 7人 (注 7)	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学習への熱意と能力を有し、学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 2)
			高知県枠 7人 (注 7)	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学習への熱意と能力を有し、高知県の学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
	保健体育教育 コース		一般枠 4人 (注 7)	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学習への熱意と能力を有し、学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 次に示す競技種目において競技実績を持つ者 体操競技、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、硬式野球、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ダンス、剣道	(注 2)
			高知県枠 2人 (注 7)	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学習への熱意と能力を有し、高知県の学校教員を目指す強い意志と情熱をもった者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 次に示す競技種目において競技実績を持つ者 体操競技、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、硬式野球、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ダンス、剣道	
理 工 学 部	情報科学科		8人 (注 1)	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
	生物科学科		10人 (注 5)		
	化学生命理工学科		13人 (注 5)		
	地球環境防災学科		8人 (注 5)		

実施学部(学科・課程等)			募集人員	出 願 資 格	備考
医学部	看護学科		27 人	高等学校を2025年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学習成績・人物が優秀でかつ健康であり、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (2) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注3)
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド科学コース	一般推薦 A 選抜 7 人 B 選抜 (地域志向枠) 5 人 (注11)	高等学校を卒業(修了)した者又は2025年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)
			専門推薦 3 人 (注8)	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2025年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計 25 単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)
			専門推薦 高知県枠 5 人 (注8) (注10)	高知県内の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2025年度3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 もしくは、高知県在住であって県外の高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を2025年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計 25 単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)

実施学部(学科・課程等)			募集人員	出 願 資 格	備考
農林海洋科学部	農林資源科学科	農芸化学コース	高知県枠 5 人 (注 9) (注 10)	高知県の高等学校 を卒業(修了)した者又は 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 5)
地域協働学部	地域協働学科		10 人	高等学校 を 2025 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 4)

(注 1) 学校長が推薦できる人員は、1 校につき 2 人以内とします。

(注 2) 学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で 1 校につき 2 人以内とします。

(注 3) 学校長が推薦できる人員は、1 校につき 3 人以内とします。

(注 4) 学校長が推薦できる人員は、1 校につき 1 人とします。

(注 5) 学校長が推薦できる人員に制限はありません。

(注 6) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2 年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注 7) 高知県以外の高等学校の卒業(修了)見込みの出願者は「一般枠」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)見込み者は、出願時に「一般枠」又は「高知県枠」のいずれかを選択してもらいます。(高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。)

(注 8) フィールド科学コースでは、高知県以外の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込みの出願者は「専門推薦」とします。高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者は、出願時に「専門推薦」又は「専門推薦(高知県枠)」のいずれかを選択してもらいます。(卒業(修了)見込み者については、高知県内の住所から他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。)

(注 9) 農芸化学コースでは、「高知県枠」は高知県の高等学校の卒業(修了)者又は卒業(修了)見込み者を対象とします。

(注 10) 「高知県枠」は入学後に本学部が開設する「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。

次世代農業教育プログラム (Education Program for Smart Agriculture : EPSA)

本プログラムは、共通教育科目及び専門科目から選定した科目群の履修により社会的関心の非常に高いスマート農業の生産から加工流通までを学ぶ次世代農業科学コースと、さらにデータ駆動型農業の理解・実践に必要な知識を高度に学ぶ AI・プログラミング実践コースから構成されています。両コースともに、3 年次には修了し、修了証が授与されることによりコース修了者として就職活動することができます。

カリキュラムでは、プログラムを段階的に履修できるように複数の科目群(プログラム入門・実習科目群、プログラム基盤科目群、4つの専門科目群、AI・プログラミング科目群)を配置しており、修得単位は全科目とも卒業要件単位に含まれます。

次世代農業科学コースでは基礎的知識の修得を目的として、1 年次に入門・実習科目群(共通教育科目)とプログラム基盤科目群の「スマート農業 I」を履修します。2 年次以降は、プログラム基盤科目群、スマート農業の理解に必要な専門科目群を順次履修し、総括として「IoT 総論」によりスマート農業の全体像を俯瞰的に理解します。

(注 11) 「B 選抜(地域志向枠)」出願者は、B 選抜のみの単願または A 選抜との併願が選択できます。選抜方法については、「5 選抜方法等」を確認してください。

「B 選抜(地域志向枠)」について

「地域志向枠」は入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。

指定単位を修得した者は、地域社会への理解を深め課題解決に取り組んだ証として、地方創生推進士の称号を取得することができます。「地域に対する理解と愛情を有する自律的で『協働』能力を持った人材」として大学が認定しますので、高知県内での就職(企業、公務員、NPO 等はありません)のみならず、高知県外での活動においても、貴重なアピールポイントとして活かすことができます。

2 個別の入学資格審査

出願資格以外の教育施設で教育を受けた者が出願する場合は「個別の入学資格審査」を行いますので高知大学学務部入試課にお問合せください。

(1) 審査の方法等

申請者から提出される書類(本学所定の用紙等)により、高知大学入試企画実施機構会議において審査します。

(2) 申請期間及び問合せ先

2024 年 7 月 1 日(月)から 8 月 30 日(金)(必着)まで

問合せ先: 〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号

高知大学学務部入試課 (TEL 088-844-8153)

3 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願のみとなります。

四国の国立 5 大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学)が共同で開設するインターネット出願サイト(以下、「インターネット出願」という)を使用し、出願を受け付けます。

インターネット出願で必要事項を入力したうえで、入学検定料の支払い、調査書等の必要書類を郵送する必要があります。

郵便事情を十分考慮のうえ、調査書等の郵送が必要な書類が受付期間内に本学へ到着するように手続きをしてください。

☆『インターネット出願』の詳細については、高知大学HP内の「受験生サイト」に順次掲載します。(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/net-apply>)

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、四国国立 5 大学インターネット出願専用コールセンターをご利用ください。

●受付期間: 2024 年 10 月 21 日(月)～11 月 8 日(金)

●受付時間: 受付期間の午前 9 時から午後 5 時まで(土日祝除く)

●電話番号: 075-341-8620

(2) 出願期間 ※出願に必要な書類の受付は郵送のみです。(持参では受け付けません。)

出願情報の登録期間	2024 年 10 月 19 日 (土) ~ 11 月 8 日 (金) 13 時まで
入学検定料の支払期間	2024 年 11 月 2 日 (土) ~ 11 月 8 日 (金) 13 時まで
郵送が必要な書類の受付期間	2024 年 11 月 2 日 (土) ~ 11 月 8 日 (金) 17 時まで (必着)
【注意！】 インターネット出願において、出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 郵便事情を十分考慮のうえ、郵送が必要な書類(下記(5)参照)が受付期間内に本学へ到着するように「特定記録・速達郵便」で郵送してください。(持参では受け付けません。) 上記の締切に出願書類の到着が間に合わないことが見込まれる場合、締切までに厳封の書類以外を FAX (088-844-8147) で事前送信し、受付を行うことができます。FAX を送信した後は必ず入試課に電話 (088-844-8153) にて、届いているか確認してください。受付最終日の 17 時に郵送の書類または FAX のいずれも到着していない場合、出願は受理できません。また、書類の原本及び厳封の書類は、締切翌日の 17 時までに到着するように発送してください。到着しない場合、受験できない場合がありますが、検定料は返還できません。	

(3) 入学検定料 17,000 円

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easy が利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング)を利用できます。

(注)納入した入学検定料は出願受付後においては原則返還しません。

大規模災害により被災し、入学検定料免除を希望される方は、必ず出願前に学務部入試課 (088-844-8153)までご連絡ください。

◀ 入学検定料免除に関する詳細はこちら → <https://www.kochi-u.ac.jp/shinsai/> ▶

(4) 出願に関する留意事項

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、受け付けません。
- ② 出願書類受付後の書類の返還及び記載事項の変更は認めません。ただし、連絡先の変更は速やかに本学まで申し出てください。
- ③ 出願書類のうち、日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。

(5) 郵送が必要な書類等

宛名票(入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。)を貼った角形 2 号封筒に以下の書類等を入れて送付してください。

書 類 等	摘 要
入学願書	入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。A4 サイズで印刷してください。印刷できない場合は、A4 の白紙にその旨記入し、入学願書の代わりとしてください。
推薦書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、<u>出身学校長において作成し厳封</u>してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に推薦書の内容をすべて<u>出身学校長において作成し厳封</u>してください。 《 https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/admissions 》
志願理由書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、志願者が志願の理由を記述してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に志願理由書の内容をすべて記入してください。 《 https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/admissions 》
学修計画書 (人文科学コース、国際社会コース A 選抜のみ)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、志願者が学修の計画を記述してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に学修計画書の内容をすべて記入してください。 《 https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/admissions 》
実技実績調べ (保健体育教育コースのみ)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、<u>出身学校において作成し厳封</u>してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に実技実績調べの内容をすべて<u>出身学校において作成し厳封</u>してください。 《 https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/admissions 》
調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。

(6) 受験票の印刷

インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードし、A4 用紙に印刷してください。

ダウンロード期間などの詳細は、本学受験生サイト内の「2025 年度入試インターネット出願ガイド」に掲載します。

(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/net-apply>)

4 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

2024年10月4日（金）まで

※ 上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「(3)の①又は②」の連絡先で、修学上の支援については「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室で、随時電話・メール等による相談を受け付けています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書（大学入学共通テストの受験上の配慮決定通知書の写し、身体障害者手帳の写し、医師の診断書（発行後3か月以内のもの）」の提出について、お知らせします。

※ 大学入学共通テストの受験上の配慮決定通知を受けている者については、診断書（大学入試センターに提出したもの）はコピーでかまいません。その他の者については、状況に応じて原本を提出していただくことがありますが、ご希望があれば、本学でコピーのうえ返却します。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出

「(1) 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて「(3)の①又は②」の連絡先まで提出してください。

※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>）より、ダウンロードしてください。（重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）

④ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤ 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥ その他

「相談の期限」（(1) 事前相談の時期 参照）以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「(3)の①又は②」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「(3)の③」に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

② 医学部

高知大学医学部・病院事務部学生課入試室
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

③ インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター 学生支援部門インクルージョン支援推進室
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL 088-888-8037

E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用机の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）

（これまでに行った支援の例）

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援（ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
- ・教室環境（換気、教室変更）
- ・移動支援（別移動手段）
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

（想定される支援の例）

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

5 選抜方法等

学校推薦型選抜Ⅰの選抜は、各学部・学科・コース等の選抜方法により判定を行います。

(1) 選抜方法

① 人文社会科学部 人文社会科学科

ア) 人文科学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、外国語(英語)(50点)、面接(200点)、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。

面接は個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、論理構成力等の項目について複数の採点者が評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間はおおよそ10分です。

イ) 国際社会コース

A 選抜

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文(100点)、面接(100点)、調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書を総合して判定します。

小論文は、課題文を提示し受験者の論述を求めるという形式をとり、読解力、思考力、判断力、表現力を総合的に評価します。解答時間は60分です。面接は、複数の面接担当者による集団面接の方法で行い、志望動機、目的意識、関心・意欲、適性、知識、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書、志願理由書及び学修計画書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。

B 選抜

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、英語による集団面接の方法で行い、英語によるコミュニケーション能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、そして志望動機、目的意識、適性、論理的思考力などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ25分です。

ウ) 社会科学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、数人が1組となる集団面接の方法で行い、複数の採点者が総合的に評価します。口頭試問を含む面接の内容は、時事問題を出題し、社会問題に対する知識や関心、理解力を問います。また、志願理由書等の出願書類に関する質問、本コースの教育方針や内容、アドミッション・ポリシーとの適合性及び関心の度合いをはかる質問を行い、理解力、思考力、表現力、勉学意欲を総合的に評価します。志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間は1組がおおよそ50分です。

② 教育学部学校教育教員養成課程

ア) (教育学科学コース、(※)教科教育コース、特別支援教育コース)

(※)教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)の総点(300点)と調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークに

についての振り返り作文を課します。

グループワークでは、受験者の活動の様子(発言、傾聴行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。

イ) 保健体育教育コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)、実技・実技実績調べ(200点)の総点(500点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動を行います。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。

グループワークでは、受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

実技は、基礎的運動能力試験を実施します。実技実績調べは実技と併せて採点します。

調査書、推薦書及び志願理由書は、出願資格の確認にも用います。

③ 理工学部

ア) 情報科学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(情報)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、情報の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。

イ) 生物科学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(生物、地学から1つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。

ウ) 化学生命理工学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(化学、生物から1つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。

エ) 地球環境防災学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問(物理、化学、地学から1つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は、口頭試問を含む面接の資料とします。面接時間はおおよそ20分です。

④ 医学部

看護学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文(100 点)、面接(25 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。ただし、面接評価のみで不合格にすることがあります。

面接は、個人面接の方法で行い、態度、論理性、積極性等を評価します。調査書、推薦書及び志願理由書は面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。面接時間はおおよそ 10 分です。

⑤ 農林海洋科学部 農林資源科学科

ア) フィールド科学コース(一般推薦 A 選抜)

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、**理科(物理、化学、生物から 1 つを選択)の基礎知識**について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

フィールド科学コース(一般推薦 B 選抜(地域志向枠))

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文(100 点)、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

小論文は、**日本国内における中山間地域が抱える課題やその解決方法への関心**について問います。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、**理科(物理、化学、生物から 1 つを選択)の基礎知識**について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

B 選抜志願者(B 選抜単願及び A 選抜との併願)で合格者を決定します。

A 選抜との併願を選択した者は、B 選抜において不合格であった場合、小論文の点数を除いたうえで A 選抜において判定を行います。

フィールド科学コース(専門推薦(高知県枠を含む))

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

イ) 農芸化学コース

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、口頭試問を含む面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、知識について総合的に評価します。口頭試問では、本コースに関する専門分野の基礎知識について質問します。面接時間はおおよそ 20 分です。調査書、推薦書及び志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とし、総合判定に加味します。

⑥ 地域協働学部

地域協働学科

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、グループ活動及び振り返り演習適性試験※(200 点)、作文(100 点)、面接(100 点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、個人面接の方法で行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」

「関心・意欲」の 4 つの重点評価項目について、複数の採点者が評価します。調査書、志願理由書は面接の資料とします。面接時間はおおよそ 10 分です。

※「グループ活動及び振り返り演習適性試験」

この試験では、ごく簡単なグループ活動を行ってもらい、それに続けて、グループ活動の振り返り演習を実施します。振り返り演習では、議論もしくは行動の結果と、グループ活動のプロセスでのチームのあり方について考えてもらいます。採点は、チームとしての成果を向上させる資質という視点から、グループ活動とその後の振り返り演習の両方での受験者の「ふるまい」(発言、傾聴、行為等)について試験者が観察し、行います。

(2) 試験実施期日・時間及び試験場

学部	学 科 ・ 課 程 等			月 日	集合時刻	試験時間	科目等	試 験 場
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		11 月 17 日（日）	8:30	9:00～ 9:20	外 国 語 （ 英 語 ）	
						10:30～ 18:00 頃	面 接	
		国際社会 コース	A 選 抜	11 月 17 日（日）	8:30	9:00～ 10:00	小論文	
						11:30～ 18:00 頃	面 接	
			B 選 抜	11 月 16 日（土）	（注 2）	9:00～ 18:00	面 接	
社会科学コース		11 月 16 日（土）	口 頭 試 問 を 含 む 面 接					
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・ 教科教育コース（注 1）・ 特別支援教育コース 保健体育教育コース		11 月 17 日（日）	8:30	9:00～ 11:10	講 義 理 解 力 試 験	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1
						12:30～ 17:20	問題解決型グル ープワーク、 振り返り作文	
		保健体育教育コース		11 月 16 日（土）	8:30	9:00～ 11:30	実 技	
理工学部	情報科学科				（注 2）	9:00～ 18:00 頃	口 頭 試 問 を 含 む 面 接	
	生物科学科							
	化学生命理工学科							
	地球環境防災学科							
医学部	看護学科				8:30	9:00～ 11:00	小 論 文	岡豊キャンパス 南国市岡豊町 小蓮
						12:30～ 18:00 頃	面 接	
農林海洋科学部	農林資源科学科	フィールド 科学コース	一般推薦 A 選 抜	11 月 16 日（土）	12:30	13:00～ 17:00 頃	口 頭 試 問 を 含 む 面 接	物部キャンパス 南国市物部乙 200
			一般推薦 B 選 抜 （地域志向枠）		9:00	9:30～ 11:00	小 論 文	
			専門推薦		12:30	13:00～ 17:00 頃	口 頭 試 問 を 含 む 面 接	
			専門推薦 （高知県枠）		12:30	13:00～ 17:00 頃	口 頭 試 問 を 含 む 面 接	
			農芸化学 コース		高知県枠	12:30	13:00～ 17:00 頃	
		9:00				9:30～ 17:00 頃	口 頭 試 問 を 含 む 面 接	
地域協働学部	地域協働学科				8:30	8:50～ 10:10	グ ル ー プ 活 動 及 び 振 り 返 り 演 習 適 性 試 験	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1
					10:30	10:40～ 11:40	作 文	
					12:40	13:00～ 19:00 頃	面 接	

(注1) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注2) 集合時刻については、受験票の記載をご確認ください。なお、受験票は、インターネット出願サイトにログインしてダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

試験場の下見は、11月15日(金)13時からできます。(建物内に入ることはできません。)

(3) 実技の内容等

教育学部学校教育教員養成課程

コ ー ス	試 験 内 容
保健体育教育 コース	基礎的運動能力試験 器械運動、陸上運動、ボール運動の中から、基本的な運動課題を提示、基礎的な運動能力をみます。 (注意事項) 1. 試験内容・方法は当日発表します。 2. 屋内用と屋外用の運動靴を持参してください。 3. 当日は8:30～8:50に受付を済ませ、更衣室で基礎的運動能力試験のできる服装に着替えた後、9:00に集合してください。(集合場所については当日に掲示によりご確認ください。) 4. スパイクの使用はできません。

6 受験上の注意事項

(1) 試験場への集合等

- ① 受験者は掲示により集合場所を必ず確認し、各学部の指定の時刻までに入室してください。
- ② 試験室入室後は、教科書・参考書等は開かないでください。
- ③ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(2) 携行品

- ① **本学受験票、黒鉛筆**(シャープペンシル可)を持参してください。このほか、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)は、机の上に置くことができます。
- ② 上記以外の携行品は、指定の場所に置いてください。
- ③ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。

(3) 受験票

- ① 試験場の建物に入るときは、受験票を提示できるように、あらかじめ準備してください。
- ② 受験票は、着席後、座席票の手前に置いてください。
- ③ 試験当日に受験票を忘れた者は、受験票再交付場所(当日の掲示に注意)で所定の手続きを行い、受験してください。

(4) 遅刻者

試験開始後 30 分を超えたときは、受験することができません。

また、面接、グループ活動、実技は定められた集合時刻に遅れると受験することができません。

(5) その他

- ① 各学部でそれぞれ課している科目等を全て受験しないと合格者となりません。
- ② 試験が終了するまでは退室できません。
- ③ 試験中、発病等で一時休養を希望するとき、又はトイレ等で席を立ちたいときは、手を挙げて、監督者の指示に従ってください。なお、これらの場合でも試験時間の延長は行いません。

- ④ 許可された物品以外のものを机に出している場合、若しくは身につけることのできないものを身につけている場合は不正行為として扱う場合があります。
- ⑤ 監督者等の指示に従わないとき又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。
不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑥ 朝倉キャンパスでは、試験期間中、自動車の構内乗り入れ及び駐車は禁止します。周辺に駐車場はありませんので、来学の際は公共交通機関をご利用願います。(人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部のみ)
岡豊キャンパス(医学部)については自動車の乗り入れは可能ですが、駐車料金が発生します。
物部キャンパス(農林海洋科学部)は自動車の乗り入れは可能ですが、係員の指示に従ってください。

7 合格者発表と選抜結果の通知

- (1) 合格者の発表は、**2024 年 12 月 1 日(日)10 時(予定)**に、本学ホームページ「受験生サイト」に受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続関係書類を発表と同時に特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
なお、推薦のあった出身学校長へは、選抜結果について通知します。
- (2) ホームページで合格者発表を行いますが、情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト：<https://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) 電話等による問合せには一切応じません。

8 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

2024 年 12 月 2 日(月) から 12 月 9 日(月) 17 時まで(必着)

※郵送のみ(持参では受け付けません。)

(注) 郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するように特定記録・速達郵便で発送してください。(入学手続期間後に到着した場合は受理できません。)

(2) 入学手続書類の送付先

高知大学学務部入試課(〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号)

(3) 入学手続書類

入学手続書類は、合格通知書とともに送付しますが、それ以外に用意するものは、次のとおりです。

- ① 卒業(修了)証明書……1 通【卒業(修了)後速やかに提出、2025 年 3 月 17 日(月)必着】
- ② 写真……………2 枚(4cm×3cm・私服で撮影したカラー写真)

(4) 入学手続時等に要する経費

- ① 入学料 282,000 円
- ② 授業料 第 1 学期分 267,900 円(年額 535,800 円)
- ③ フィールド実習費(地域協働学部のみ)

地域協働学部では、1 年次から 3 年次までの実習費(3 年間で 90,000 円)を納付して頂きます。

本実習費は、実習に必要な各種経費です。原則として入学手続き時に一括して納付して頂きます。
なお、本実習費が余った場合は、実習に行く際の車両購入のために積み立てます。

○ 注意事項

- 1) 入学料は入学手続き時に納付してください。
- 2) 授業料は、第 1 学期分は 5 月中、第 2 学期分は 11 月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
- 3) 入学料の減免(留学生を除く)又は徴収猶予を希望する者は、合格者に送付する入学者の手引に従って手続を行ってください。

授業料についても減免制度及び徴収猶予制度があります。

当該制度の申請者は、本学が指示するまでは入学料・授業料を納付しないでください。

日本学生支援機構給付奨学金に申請予定の者又は採用者で入学料納付後に入学料及び授業料減免の手続を行う者は、本学が指示する手続期間内に申請を行ってください。

(問合せ先：高知大学学務部学生支援課経済支援係(TEL 088-844-8146))

- 4) 納入した入学料は、返還しません。ただし、次に該当する場合は当該入学料相当額もしくは免除相当額を返還します。
 - ・入学料を納付した者が、入学手続を完了しなかった場合
 - ・入学料を納付した者が、納付後申請した減免制度により全額もしくは一部免除となった場合
- 5) 入学料減免及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続を完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。
- 6) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(5) 注意事項

① 合格者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

ただし、特別の事情により、2025 年 2 月 19 日(水)までに学校長から入学辞退願が提出され、許可された者は除きます。

② 手続期間内に入学手続を完了しない者は、辞退者として取り扱い、入学を許可しません。

なお、この場合の辞退者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

③ 提出書類の記載内容に虚偽の記載が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。また、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

9 入学前指導(事前学習会)の予告

合格者を対象に、入学に備えた指導を行います。入学後の学修を円滑に始められるようになることを目的としています。

詳細については、合格通知書送付時又は入学手続後に各学部等より連絡します。

なお、入学前指導に関する連絡等に出願時に登録いただいた、メールアドレスを使用させていただく場合があります。御了承ください。

10 不合格者の国公立大学への出願

不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜等に出願することができます。

一般選抜の出願期間は、2025 年 1 月 27 日(月)から 2 月 5 日(水) です。(大学入学共通テストを受験してください。)

(注) 不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。

ただし、本学の大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

11 入学試験に関する情報の開示

本学では、2025 年度入学試験に関する情報を次のとおり開示します。

(1) 受験者の入学試験成績に関する事項

① 開示内容

〔人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部〕

・試験成績(一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ)

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等科目毎の成績、順位

〔医学部〕

・試験成績(一般選抜)

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等成績の合計

② 開示は、受験者本人に対して行います。(代理人には開示いたしません。)

③ 開示請求の受付期間は、2025 年 5 月 7 日(水)から 5 月 16 日(金)までです。

(土曜日、日曜日を除く 8 時 30 分から 17 時まで)

④ 開示の請求方法

開示は、受験者本人が上記受付期間に本学所定の「個人成績開示願書」、「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」、返信用の封筒(長形 3 号封筒に簡易書留郵便料金 460 円分の切手を貼り、受験者本人の住所・氏名を明記したもの)を郵送してください。

※本学所定の「個人成績開示願書」は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)より、ダウンロードしてください。

(2) 入学者選抜実施状況資料

次の情報を公開します。

① 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、追加合格者数、入学辞退者数

② 合格者成績情報(合格者が 10 人未満の場合は公表しません)

〔人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部、地域協働学部:一般選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ〕

〔医学部:一般選抜〕

大学入学共通テスト成績の合計、個別試験等成績の合計及び総得点について、それぞれの最高・最低・平均点

※入学者選抜実施状況資料は、2025 年 4 月中旬以降に高知大学受験生サイトに公表します。

(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)

12 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等、入学前教育及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

ただし、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

また合格者に限り、入学後の修学に係る学生サービス及び卒業後のコミュニティ醸成のために、合格者本人の同意を得たうえで、出願時に入力された住所情報を各学部同窓会・後援会に提供することをご了承願います。

試験場案内

試験場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

①ＪＲで来られる方へ

ＪＲ朝倉駅	徒歩(約5分).....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
ＪＲ高知駅	路面電車(とさでん交通、以下、省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分)、 「はりまや橋」電停で下車、以下の①・②・③へ乗り換え	

②航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車(約30分)、「はりまや橋」で下車、以下の①・②・③へ乗り換え	
--------	--	--

【乗り換え】高知市内中心部より

①路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約30分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	高知大学 (朝倉キャンパス)
②とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「天王ニュータウン」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車 (約25分)、「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	
③県交北部交通バス 「堺町」バス停	「長沢」・「土居」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車(約25分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

試験場：高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)

[交通アクセス]

①ＪＲで来られる方へ

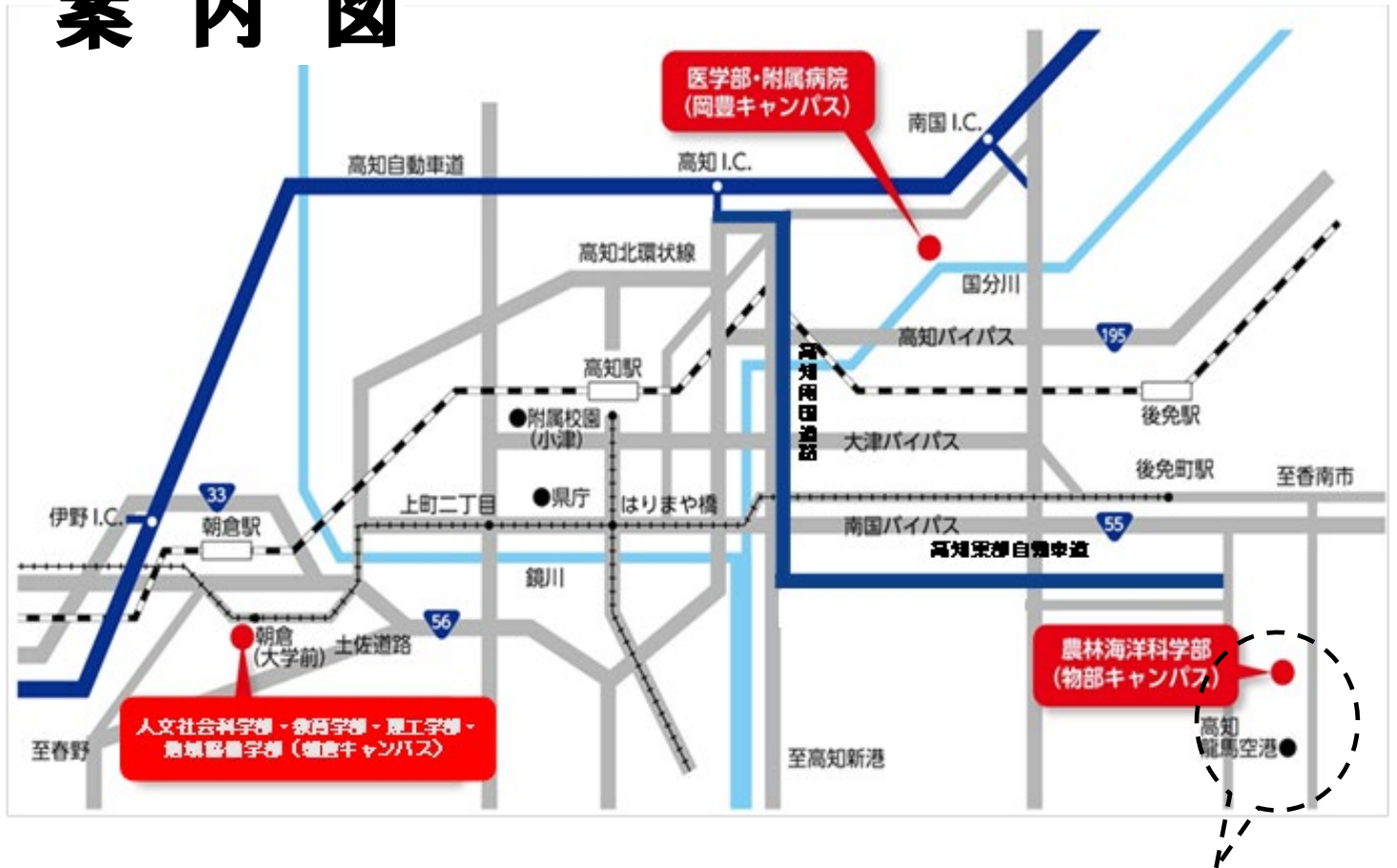
ＪＲ高知駅	空港連絡バス(「高知駅前観光バス」または「とさでん交通」)に乗車(約30分)し、 「高知龍馬空港」で下車後、徒歩約15分.....▶	高知大学 物部キャンパス
ＪＲ後免駅	タクシー(約20分).....▶	

②航空機で来られる方へ

高知龍馬空港	徒歩約15分、又はタクシー.....▶	高知大学 物部キャンパス
--------	---------------------	-----------------

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

各キャンパス 案内図



(拡大図)

入 試 情 報

入試情報 高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/>)にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<https://manabi.benesse.ne.jp/>)

◎ 入学試験に関する問合せ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の８時３０分～１７時までの間に次のところに問合せてください。

高知大学学務部入試課	TEL 088 - 844 - 8153
	FAX 088 - 844 - 8147
医学部担当	TEL 088 - 880 - 2295
	FAX 088 - 880 - 2296

高知大学学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町二丁目５番１号